

News Release



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

平成27年1月26日

各報道機関文教担当記者 殿

SGH海外交流で異文化理解 1/30 附属高等学校が台湾師範大学生を招いて交流授業

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校は、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」に指定されました (平成26年度から5年間)。その指定を受け、附属高等学校では、本事業の管理機関である本学の支援のもと、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」を掲げ、シームレスな高大連携による人材育成プログラムの研究開発を行っています。

現在、附属高等学校では1年生を対象にSGH探究学習として「異文化研究」を行っており、この度、その一環として **平成26年度SGH「台湾師範大学生との交流授業」を実施します。1月30日(金)には、「Taiwan Hour」と題して、台湾師範大学生と附属高等学校1年生がグループに分かれ、日本と台湾の文化の比較について英語でディスカッションを行います。**

また、エクスカーション授業として、附属高等学校生徒と台湾師範大学生が、1月31日(土)には金沢市内巡検、2月11日(水)には白川郷フィールドワーク、2月14日(土)には日本文化体験(金沢市内)を行います。3月18日(水)から22日(日)には、「台湾現地学習」として附属高等学校生徒が台湾に赴き、台湾師範大学生及び同高級中学生(日本における高校生)と、日本と台湾の文化の比較について英語でディスカッションするとともに、現地調査を行います。

平成26年度SGH事業「台湾師範大学生との交流授業“Taiwan Hour”」

日時：平成27年1月30日(金)

1年C組3・4限(10時45分～12時35分)

1年B組5・6限(13時25分～15時15分)

場所：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校(金沢市平和町1-1-15)

内容：附属高等学校生徒と台湾師範大学生が、日本と台湾の文化の比較について、英語でディスカッションする。

異文化理解を深めることはグローバル・リーダーを育成する上で効果あるプログラムです。つきましては、当日の取材・報道、どうぞよろしくお願いたします。

(参考) 文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」とは

急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、課題解決能力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成することを目的としています。

平成 26 年度指定校 56 校 (内訳 国立 4 校, 公立 34 校, 私立 18 校)

「スーパーグローバルハイスクールについて」文部科学

省 http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/sgh/

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校H

P <http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/>

(本件紹介先)

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 教諭 高橋栄一 Tel : 076-226-2141

(担当) 金沢大学総務部広報室 本庄 Tel : 076-264-5024